

ケアセンターきららショートステイ 介護課長

あさの なつこ  
**浅野 奈津子**



## 2

015年に株式会社きららホールディングスに入社した浅野奈津子さん。

以来ケアセンターきららショートステイで活躍し、2019年から介護課長を務めています。入社後の経緯、仕事への思い、そして今後の目標などを伺いました。

### 入社のきっかけをお聞かせください。

前職は整骨院で働いていましたが、先生の指示通りに動く助手としての側面が大きく、もっと能動的に働ける仕事をしてみたいと思っていました。そんな頃に知り合ったのが、母を担当してくれたケアマネジャーさん。とても優秀な方で、その仕事ぶりに感謝の念を抱くと同時に、介護の世界への興味をかき立てられたのです。そしてきららホールディングスとの縁がなくなり、こちらで働くこととなりました。

### 働いていてやりがいを感じる瞬間を教えてください。

利用者様の笑顔や感謝の言葉は、大変励みになります。日頃から利用者様がよく口にする言葉は、やはり「自分の家に帰りたい」。皆さん帰りたくても気軽に帰れません。そのため、ここにいながらもお家と同じくらい寛げる雰囲気

を、少しでも私たちがつくれたらと思っています。

先日入居した利用者様で、当初は2週間のみだった予定が変わり、引き続きこちらに入居することになった方がいました。「ここにずっといられる」と喜ぶ様子に、日頃からの取り組みを認められたようでこちらも嬉しくなりました。

### 仕事をする上で心がけていることはありますか。

常に利用者様の立場で考えるよう意識しています。加えて笑顔を引き出せる接し方、気持ちに寄り添った対応も大切です。特に気持ちへの寄り添いは、スタッフとコミュニケーションを取る際にも必要なこと。忠告が必要な場面でも頭ごなしにいわず、忠告が必要な状況となった経緯を確認してから改善すべき点をアドバイスし、そして注意するだけではなく、良い点も惜しまずに伝えて褒めます。経験を積むごとに「仕事は1人でできるものではない」という実感が深まります。確固とした協力体制をしくために、相手を尊重する気持ちは欠かせないものです。

### 休日はどのように過ごしていますか。

午前中に夫と買い物に出か



け、午後から5〜6品ほど調理。そのつくり置きで平日の夕食づくりが楽になります。特に趣味はなく、そんな過ごし方で生活をリセットしています。

### 今後の目標をお聞かせください。

人材育成と、風通しの良い職場づくりです。利用者様を第一に考えて行動できる人材を育てていきたいと思っています。

ケアセンターきららショートステイのこれから見つめる浅野さん。仲間たちと共に、一歩一歩着実にその歩みを進めていくことでしょう。

3月生まれの皆さん、お誕生日おめでとうございます！今回も皆さんの誕生日果を紹介します。花言葉ならぬ果物言葉は、イメージに合っていますか？果物をたくさん食べて健康でよい一年をお過ごしください！

項目

- ①誕生日の果物
- ②果物言葉

### 3月1日

かとう ひ な こ  
**加藤 日奈子**さん  
さとう ゆ き こ  
**佐藤 友紀子**さん  
さんぼうかん  
①三宝柑  
②富・永遠の心

### 3月2日

いがらし い く こ  
**五十嵐 育子**さん  
しん どう ま さ ゆ き  
**進藤 正幸**さん  
①スイートオレンジ  
②チームワーク

### 3月3日

さとう よう へい  
**佐藤 陽平**さん  
み う ら は る み  
**三浦 春美**さん  
たけうち は る な  
**竹内 遥南**さん  
①イエローマンゴー  
②魅了・芳潤

### 3月4日

おおいし り ほ  
**大石 莉穂**さん  
さ が わ は る き  
**佐川 陽樹**さん  
さとう ゆう こ  
**佐藤 優子**さん  
①グレープフルーツ  
②謙遜・縁

### 3月5日

おおしま せい い ち ろ う  
**大嶋 清一郎**さん  
①ティファニー  
②優雅

### 3月6日

こん か こ  
**金 佳子**さん  
①パイナップルオレンジ  
②純潔・お人よし

### 3月7日

さとう と も や  
**佐藤 智哉**さん  
①水晶文旦  
②豊かな愛・愛の結合

### 3月9日

こまつ み く  
**小松 未来**さん  
①タマリンド  
②包容力・節制

### 3月10日

いしかわ つとむ  
**石川 努**さん  
まつまえ かつ み  
**松前 克美**さん  
さとう こ  
**佐藤 エリ子**さん  
①ブラッドオレンジ  
②気まま・子どものような

### 3月11日

おお たか こう き  
**大高 幸樹**さん  
く どう ひろ ゆ き  
**工藤 裕之**さん  
さとう や し  
①砂糖椰子  
②自由・おだやかさ

### 3月12日

いわ た むね ひ さ  
**岩田 宗久**さん  
たはら しょう こ  
**田原 祥子**さん  
びんろうじ  
①檳榔子  
②物好き・好奇心

### 3月13日

の ぐ ち あつ し  
**野口 淳史**さん  
①ピタンガ  
②希望・純潔

### 3月15日

やまざき あか ね  
**山崎 茜音**さん  
①マラッカノキ  
②神聖・情け深い

### 3月16日

さとう あや こ  
**佐藤 綾子**さん  
たけだ み か  
**武田 美香**さん  
①福原オレンジ  
②美德・貞淑

### 3月17日

こんどう か おり  
**近藤 香織**さん  
①ヤングココナッツ  
②慈善

### 3月20日

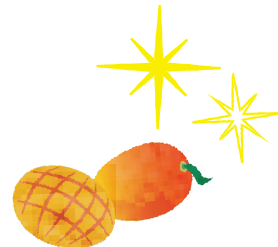
すがわら ゆう こ  
**菅原 悠子**さん  
たちばなのぶ こ  
**橘 信子**さん  
①ナムナム  
②空想・白日夢

### 3月22日

かわべちかこ  
**川辺 智佳子**さん  
①エッグフルーツ  
②戸惑い・困惑

### 3月23日

きし まさ こ  
**岸 雅子**さん  
めぐろ しげゆき  
**目黒 茂之**さん  
いしづか よしひさ  
**石塚 善久**さん  
①マンゴー  
②甘いささやき



### 3月24日

こう た しょういち  
**古宇田 正一**さん  
さ さ き あ ゆ  
**佐々木 愛夕**さん  
まる やま あき こ  
**丸山 明子**さん  
みやた さだこ  
**宮田 さだ子**さん  
①キワノ  
②私を拒絶しないで

### 3月25日

せき や しげあき  
**関谷 重昭**さん  
①ランブータン  
②天真爛漫

### 3月26日

かまだ あすか  
**鎌田 明日香**さん  
たかはし たく  
**高橋 卓**さん  
ながと かずや  
**長門 和弥**さん  
くどう えみこ  
**工藤 恵美子**さん  
こんどう みえこ  
**近藤 三枝子**さん  
①グラナディア  
②愛に忠実

### 3月29日

さいとう なおみ  
**齋藤 直美**さん  
①ミネオラタンジェロ  
②不屈の精神

### 3月30日

かなざわ りん た  
**金沢 凜太**さん  
①アヴォカド ②契り



うお座の神話  
(2月19日~3月20日)

ギリシャ神話では、愛と美の女神アフロディーテとエロスの化身であるうお座。ある日、エリダヌス川（ナイル川とも言われています）の畔で宴会を楽しんでいたオリnposの神々は、突然現れた怪物・テュフォン（ティポン）に驚き、さまざまなものに姿を変えて逃げ出します。このときアフロディーテとエロスは魚の姿に変わり、エリダヌス川へ逃れたと伝えられています。

うお座の性格は **ロマンチストな人**

これが  
私たちの  
お仕事  
です

# きらら医療福祉プラザ きら・りえ



管理者  
すずき みきこ  
鈴木 美樹子さん

各事業所の仕事を紹介するこの企画!今回は新規事業として立ち上がった  
きら・りえの魅力に迫ります!きら・りえならではの強みとは……?

どのような仕事をされている部署なのでしょうか?

介護保険の利用有無に関わらず、利用者様が困りごとなく生活できるようサポートをしています。当施設の利用者様は現在25名。認知症の方から症状が軽い方までさまざま。一つひとつのお部屋が各利用者様のお家のようなもので、いわゆる共同住宅のようなイメージです。施設内では不便のないよう職員が24時間体制でお手伝いしますが、できるだけ利用者様の意思を尊重する自由な過ごし方をしてもらっています。

職員は事務員を含めて10名です。職員同士のコミュニケーションもよく取れており、和気あいあいとした雰囲気があります。

きら・りえで工夫していることはどのようなことですか?

同じ建物内にある調剤薬局と連携を取ることです。薬剤師の方が直接利用者様の部屋に来て薬の説明をしてくれることや、職員と薬局で情報交換などができています。例えば薬剤師の方が「この薬は副作用で目眩があるため注意してください」と職員に共有してくれたり、逆に職員が薬局に薬の内容や利用者様の受診時の様子を聞いたり。医療機関と気軽に情報共有することで、利用者様の健康を手厚くサポートできています。

きら・りえの強みを教えてください。

利用者様のこれまでのライフスタイルをあまり崩さず、施設での生活を送れることです。当施設の特徴は他の介護施設よりも自由度が高いこと。食事は必ず決まった時間にしなくても良い上、お風呂も1人で入れる方は好きな時間に入ることができます。これまでの生活習慣について入所前に丁寧に聴取し、できるだけ利用者様にストレスがかからない暮らしを提供しています。また職員同士のこまめな情報共有も大切にしています。利用者様の体調を始め「こういうことを話していた」「今日は〇〇に行きたいと言っていた」など詳しく共有!特に認知症の方は「その日どのような世界にいるのか」を知ることが対応する上で重要なため、些細なことでも細かく共有するようにしています。

仕事をされていて嬉しいときって……?

利用者様と職員がまるで家族のように感じられたときです。業者の方が置いていったバスタオルを利用者様自ら畳んでくれたり、認知症の利用者様の話し相手をして他の利用者様がしてくださったり、ホールで利用者様同士が昔話で盛り上がっていたり。お互い笑い合い助け合う姿が、1つの家族のように感じることもあります。家族のような施設であることを目標にいつも仕事に取り組んでいるため、実現できていると感じたときは充実感に満たされます。

今後の目標を教えてください!

引き続き職員全員が同じ気持ちで、利用者様が居心地よくゆったりと過ごすことができる環境を維持していきたいと思えます。



これが  
私たちの  
お仕事  
です

# きらら調剤薬局 市立病院前店



管理者  
こさか けんじ  
小坂 建司さん

患者様のことを第一に考えた待望の薬局がオープン!最新技術を取り入れ、待ち時間を短く、思いやりのあるサービスが提供できるきらら調剤薬局の魅力を紹介します。

どのお仕事をされている部署なのですか?

一般的な調剤薬局と同様、処方箋に基づいて調剤し、患者様に薬の効果や副作用などを確認しながらお渡します。市立病院前店は秋田市立病院の患者様、本店は介護施設の患者様がメインです。

きらら調剤薬局の強みを教えてください。

市立病院前店では、市立病院の大勢の患者様に利用していただけるよう、最新の機械やコンピューターを導入しました。中でも「BD Rowa」という機械は、従来人の手で行っていた棚から薬をピックアップする作業が自動でできる優れもの。ボタン操作1つでロボットアームが動いてスピーディーにミスなく集めてくれるので、お客様や付き添いの方の待ち時間短縮に繋がります。全国でも10台程度、東北でも1台あるかないかのロボットの活躍に、大いに期待しています。

きらら調剤薬局 市立病院前店で工夫していることはありますか?

患者様は、きららホールディングスを含む介護施設の利用者様が多いのが特徴です。そのため、朝昼夕のタイミング別に複数の薬をまとめる「一包化」をしたり錠剤が飲みづらい方向けに粉剤にしたりと、きめ細かいサービスを提供しています。

また、患者様ご本人が来られることはほとんどなく付き添いの介護職員の方や、施設で薬を管理されている看護師さんとのやりとりが中心となります。その際は患者さんの状態や服薬状況など、事細かく確認しながら薬をご用意するようにしています。

薬の一包化は最新の全自動の機械でできるので、作業負担削減と待ち時間短縮に繋がっています。

仕事をしていて喜びを感じるときって……?

「今までの薬局では教えてくれなかったことを知れてよかった」といった喜びの声が一番の励みになります。それは、薬についての丁寧な説明を徹底しているからこそだと思います。専門用語はなるべく使わず、その方が一番理解しやすい言葉や順序でお伝えしています。また、それまでの治療の流れやなぜこの薬を飲む必要があるのかということも、丁寧にご説明します。納得していただける答えを出せるように、ときには必要事項

を調べて対応。この姿勢が満足度の高さを生んでいるのではないのでしょうか。介護施設からも「きららに変えてから飲み間違いがなくなった」、「受診日の予定が立てやすくなった」と感謝の言葉をいただいています。

今後の目標を教えてください!

本店は、2023年3月で開局丸5年を迎えます。2022年7月開局の市立病院前店も加わった2店舗体制で、どちらも働くスタッフやお客様、秋田市民の皆さんに広く利用していただける利便性の良い店舗にしていきたいと思っています。2店舗とも経営を安定させるためにも、まずはお客様を増やすことが目標です。



# 今月の キラビト



訪問介護  
サービス提供責任者  
めぐろ ゆうこ  
**目黒 優子**さん

今回のキラビトは、訪問介護に日々尽力している目黒さんです。利用者様のご自宅に赴き、マンツーマンで支援をするお仕事ですが、ときには緊急性を要するトラブルが発生することも。そういった状況に陥った際の、取るべき行動と心構えについて教えてくださいました。

## 難しいこと

### 慌てず騒がず落ち着いて

訪問介護はひとりで利用者様のご自宅に伺うため、利用者様に急変があった場合、自分で判断、対応をしなければならないところが難しいポイントのひとつです。そうした状況が発生した際は、関係機関と速やかに連携を取り、慌てずに行動するように心がけています。

以前、利用者様の家を訪問した際、意識がなく倒れていたことがありました。実際、これまでの5年間の勤務経験の中で2件も発生しています。突然の出来事が起こるとパニックになりがちですが、マニュアルや研修での教えに従い、冷静に立ち回るよう努めています。私たちは自分で緊急搬送という手段を取れないため、まずは連絡・報告を行うことが重要です。そのために、訪問の前にはあらかじめ「何があっても対応できるように」という心構えをしています。

## やりがい

高齢の方だと施設に入るケースも多々ありますが、住み慣れた環境で継続して生活を送るためのサポートができることにやりがいを感じています。その中で、「ありがとう」「また来週来てね」というお言葉をいただく度に嬉しい気持ちでいっぱいになります。



## 信頼されるために 必要なこと

### まずは自分から

コミュニケーションを取ることが何よりも重要です。一対一の環境なので、お話を聞いてほしいような利用者様のときは傾聴し、口数が少ない方にはこちらの方から「元気ですか?」「お体大丈夫ですか?」とお声がけを多くしています。

ただ、やはり私自身が元気であることが大切。以前デイサービスで働いていたとき、利用者様から「元気ないね」と言われたことがありました。自分ではそう思っていないのですが、周りからどう見られているかを改めて注意しようと決意しました。今は大勢の方から「元気だね!」と声をかけていただけることが多いので、そのときの経験を活かしていると思います。

### 新たな分野へのチャレンジ

高齢者の方だけではなく、障がいを抱えた方々のサポートもしていきたいという思いを持っています。訪問介護に異動になった際、全身が動けない若い方の支援をしたことがきっかけで、そこで障がい介護の実態を知りました。そういった経験があって、主に障がい児や交通事故によりハンデを負ってしまった方など、年齢性別問わずに関わっていきたいと思うようになりました。今後は障がい介護に必要な知識を、さらに身につけていく予定です。

## 今後の目標

# きらら 掲示板

## 東日本大震災の記憶と防災への取り組み



震災から今年で12年。きららホールディングスでも大きな被害がありました。当時、きららアーバンパレスはオープンから5か月、職員89名、利用者様133名でした。当時の様子を皆さんに伺います。



### Episode 1

ショートステイ  
湯田 美奈子  
さん

停電になっても  
利用者様のために……

お昼過ぎに起きた地震により停電となり、エレベーターや電気が止まってしまいました。その状況でも利用者様のために夕食をお部屋に運ばなければなりません。懐中電灯だけが頼りの薄暗い階段を地下の厨房から、遠いと9階まで何度も往復して運んだことが最も苦勞したと今でも覚えています。また、エレベーターが動かず、お部屋に戻れない利用者様や車いすなども職員さんが抱えて届けていました。

### Episode 2

鈴木 多賀子  
専務

「いつも通り」には  
いかない状況

地震が起きたとき、私は出産間近で、受診の為産院にありました。保育園に上の子を迎えに行くのにも停電のためいつもは10分で着くはずが2時間もかかりました。ガソリン不足により病院に行くのも容易ではありません。万が一早く産気づくと大変なのでとにかく安静にしました。夫である社長は対応に追われている職員の方々のために家からカセットコンロや食料をあるだけ全部持っていきました。社内では電気を使わない反射式ストーブを購入したり、懐中電灯の電池が不足したりといった苦勞があったそうです。

### Episode 3

きらら保育園  
小山智江  
園長先生

自分のことだけでなく、  
誰かのために

当時きらら保育園は始まったばかりで、当日お子様約10名、職員3名でした。ガードなしで石油ストーブを室内に置くのは危ないので、部屋の外に置き、扉を開けて何とか暖を取っていました。

きらら職員の保護者の方はアーバンパレス内の震災対応に追われ、一般の保護者の方も電話が繋がりにくく、信号も消えてしまった為なかなかお迎えに来られませぬ。お子さんを不安がらせないよう気を配りながらお

迎えを待っていました。前職で経験していた避難訓練を元に、率先して子どもたちを避難させ安全確保に奔走した先輩職員の方には大変救われました。(その先輩職員は自分のお子さんも預けていましたが他のお子さんを優先して避難させていました)

また当時の園長先生は、子どもたちへの気配りは勿論、職員の方が不安になると子どもたちにも不安が伝わってしまうため、職員の方々へ気を配ることも重要だとお話されていました。今は毎月避難訓練を行っています。いざという時咄嗟に動けるよう普段から意識することの重要性を強く感じます。

現在、きららアーバンパレスでは年2回の避難訓練を実施しています。震災はいつ起こるのかわかりません。起こったときに考えるのでは遅いのです。自分事としてとらえて避難訓練に参加しましょう。

